

2024 年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。
各学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 情報福祉マネジメント学科

情報福祉マネジメント学科では、カリキュラム・ポリシーに基づき「学びの姿勢ふり返り」として 5 項目を 6 件法によって調査し、それらを 1～6 点に換算して平均値を算出した。また、「ややそう思う」「そう思う」「非常にそう思う」と回答した者の合計（以下、「ややそう思う」以上）、および、「全くそう思わない」と回答した者の全体に対する割合は下記の通りである（回答数：161）。なお、カッコ内は前年度の結果を示している。

その結果、5 項目中 4 項目において、「ややそう思う」以上が 60%を上回り、「全くそう思わない」は 3%を下回っている。このことから教育課程の編成・実施の方針に照らした教育の取り組みは概ね適切と判断できる。しかし、「ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる」については平均点が 3.54 と 2023 年度(3.45)からほぼ改善していない。また、「ややそう思う」以上は、昨年度より改善したものの、50.9%と他の項目と比較して未だ低調である。そのため、各ゼミ等において、各人の学修および学生生活の反省を促す働きかけを行い、その上で、それらを記録するように指導を行う必要がある。

1. アクティブラーニングを取り入れた多様な教育科目を受講し、主体的な学びを行っている

平 均 値	:	4.01	(4.06)
「ややそう思う」以上	:	75.8%	(74.7%)
「全くそう思わない」	:	2.5%	(1.7%)

2. ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる

平 均 値	:	3.54	(3.45)
「ややそう思う」以上	:	50.9%	(46.4%)
「全くそう思わない」	:	5.0%	(4.7%)

3. ユニバーサルパスポートを活用し、教員の双方向のコミュニケーションを密にすることで学修成果を高めようとしている

平 均 値	:	4.34	(4.08)
「ややそう思う」以上	:	82.6%	(70.8%)
「全くそう思わない」	:	0.0%	(2.1%)

4. PBL(Project and Problem Based Learning)に取り組み、高度な問題発見・問題解決能力を養っている

平 均 値 : 3.92 (3.89)
「ややそう思う」以上 : 65.8% (67.4%)
「全くそう思わない」 : 0.0% (2.1%)

5. 知識・技術の確実な定着のために、講義科目のみでなく、実習科目にも取り組んでいる

平 均 値 : 4.32 (4.37)
「ややそう思う」以上 : 80.7% (81.5%)
「全くそう思わない」 : 1.9% (2.6%)

